

授業科目	看護理論				単位	1		
履 修	選択	関連資格	高一種免(看護)		ナンバリング	NU11202J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	金山 正子							
授業概要	看護理論の定義・分類を説明し、看護の諸理論の歴史的発展を社会的背景との関連から捉え、主な看護理論家とその理論の概要、特徴について概説する。また、看護理論の看護実践への活用について考える。							
学生が達成すべき行動目標	1.看護理論とは何かを述べることができる。 2.看護理論の分類について説明できる。 3.看護理論の変遷について説明できる。 4.主な看護理論の概要と特徴を述べるができる。 5.看護理論の看護実践における活用について考えることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	50	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	50		30				80	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			20				20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
行動目標 1-5 をベースに、看護理論に関連する図書を読み、積極的に学習に取り組むことができる。さらに、看護理論の看護実践への活用について、看護理論の特性を踏まえた看護実践を提案できる。				看護理論とは何か、看護理論の分類、看護理論の変遷について説明できる。主な看護理論の特徴・概略を理解し、説明することができる。看護理論の実践への活用について自分の考えを述べるができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	・授業の概要の説明			講義		予習、復習:教科書の該当部分を読む		90

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護理論とは何か、看護理論の分類、看護理論の変遷・動向</li> <li>・ナイチンゲールの看護理論</li> </ul> <p>「看護覚え書き」を基に、環境に着目した看護理論について理解し、看護実践における活用について考える。</p>		レポート:ナイチンゲールの看護理論の特徴と、事例について考える	
2	<p>テーマ:ヘンダーソンの看護理論</p> <p>人間の基本的ニーズに着目した看護理論の特徴を理解し、「看護の基本となるもの」を参考にして、看護実践における活用について考える。</p>	講義・演習(GW)	<p>予習、復習:教科書、参考図書を読む</p> <p>レポート:ヘンダーソンの看護理論の特徴と事例について考える</p>	90
3	<p>テーマ:ウィーディンバック、ペプロウ、オーランド、トラベルビーなどの人間関係の看護理論</p> <p>看護師と患者の相互作用から看護のプロセスを捉えようとする看護理論の特徴を理解し、看護実践への活用を考える</p>	講義・演習(GW)	<p>予習、復習:教科書、参考図書を読む</p> <p>レポート:ペプロウの看護理論の特徴と事例について考える</p>	90
4	<p>テーマ:オレムの看護理論(セルフケアの観点からの看護理論)</p> <p>セルフケアについて着目した看護理論の特徴について概説し、看護実践への活用について考える。</p>	講義・演習(GW)	<p>予習、復習:教科書、参考図書を読む</p> <p>レポート:オレムの看護理論の特徴と事例について考える</p>	90
5	<p>テーマ:ロイの看護理論(適応看護モデル)</p> <p>適応看護モデルについて理解し、看護実践への活用について考える。</p>	講義・演習(GW)	<p>予習、復習:教科書、参考図書を読む</p> <p>レポート:ロイの看護理論の特徴と事例について考える</p>	90
6	<p>テーマ:ワトソンの看護理論</p> <p>ヒューマンケアリングの特徴について理解し、看護実践への活用について考える。</p>	講義・演習(GW)	<p>予習、復習:教科書、参考図書を読む</p> <p>レポート:ワトソンの看護理論の特徴と事例について考える</p>	90
7	<p>テーマ:看護理論の実践への活用について考える</p>	講義	<p>予習:看護理論の活用について学習する</p> <p>復習:授業のまとめ</p>	90
8	<p>テーマ:授業のまとめ</p>		予習および復習:授業のまとめとファイリング	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	1年次の看護学概論で使用した教科書・参考図書や看護理論に関する参考図書を活用してください。自己の看護観の構築や看護実践に活用できる内容であるため、受講者の皆さんと一緒に学びましょう。			
テキスト	筒井真優美編集、看護学テキスト 看護理論(改訂第3版)、看護理論 21 の理解と実践への応用、南江堂、2019年			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書については、その都度紹介し、教材については必要に応じて資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	図書館を利用して、看護理論家の著作を読んで看護理論に対する理解を深めましょう。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験(50%)、レポート(50%)で評価する。課題レポートの提出方法は授業の中で指示をする。課題レポートに対するフィードバックは、授業中にコメントを伝え、レポートは個人に返却する。			

